

デザイン工学科の生徒に インタビュー！

デザイン工学科の生徒の方に、授業や学校生活についてお話を伺いました。

○インタビューを受けてくださった方

矢島 清香さん

デザイン工学科の3年生。卒業制作展に向けてSDGs 動画制作に取り組んでいる。部活動で取得できる検定の勉強に励んでいた。

杉江 慶翼さん

デザイン工学科の2年生。実習を意欲を持って取り組んでいる。勉強と部活動を両立し、日々頑張っている。

どんなことを勉強するの？

ー専門教科の中で、特に好きな専門教科について教えてください。

矢島 デザイン史です。

デザインの歴史について、時代ごとに学んでいきます。日本だけでなく海外のデザインの歴史も学ぶことができ、昔つくられた建築物や絵画を見ることが単純に楽しいです。また、私が今まで見たことのある作品が多いので覚えやすいです。

杉江 VCD（ビジュアルコミュニケーションデザイン）です。

主に色彩検定に向けてデザインの勉強をします。ファッションや色、住宅の事など、幅広くデザインの事を学べるからです。

ーこれまでの実習の中で、特に楽しかった実習を教えてください。

矢島 卒展に向けての動画制作です。

SDGsの動画を作ります。言葉は聞いたことがあっても詳しく中身が分からない人に向けて、どのように伝えれば分かりやすいのか、試行錯誤しながら取り組むのが楽しいです。実際に夏に公開した際、多くの人に興味を持って見てもらえて嬉しかったです。

杉江 アーバンデザインでの家の模型作りです。

一から家の模型を作ります。自分で家の中の空間を作るので、どのような部屋にするのかを考えながら作るのが楽しかったです。また、間取りやどこに家具を置くのかを考え、家具を一つ一つ作っていくのが面白かったです。

専門教科って難しいの？

ー専門教科と聞くと難しそうですが、ついていくのは大変ですか。

矢島 普通教科と違い専門用語などを覚えることが非常に多いので大変だと思います。

杉江 専門用語を覚えるのが大変ですが、先生がテスト対策のポイントを教えてくれるので学習にはついていくことが出来ました。

どんな資格・検定を取得するの？

ーこれまでに取得した・取得を目指した資格や検定の中で、特に頑張ったものについて教えてください。

矢島 技能検定の広告美術仕上げ3級です。

指定された文字を切り抜いて、指定の場所に貼りつけていく検定です。手先の器用さとレタリング力が必要になってくるので、練習を重ねてきました。プロの方々に訪ね、合格のアドバイスを沢山貰いました。

杉江 色彩検定3級です。

色彩、色相、トーンや住宅、ファッション等デザインに必要な知識が出てきます。授業ノートなどを何度も見直し、分からない所は先生に聞くなどをして取得を目指しました。

どんな先生が教えて下さるの？

ーデザイン工学科の自慢の先生を教えてください。

矢島 工業やデザイン、様々な業界のことに詳しい先生がいらっしゃり豊富な経験や雑学を聞くことができます。さらには美術やデザインに詳しい先生もいらっしゃり、色々な作品や建築物を紹介してもらえます。

杉江 岐阜工業出身の先生が沢山いるので、デザインの知識も豊富で、親しみやすいです。進学先のアドバイスなどもしてくれます。また、実習の時に何がダメなのかをアドバイスをいただける先生もいらっしゃり、一緒に作品をつくり上げていきます。



どのように部活に取り組んでいるの？

ー所属している部活動を教えてください。また、頑張っている事を教えてください。

矢島 デザイン研究部です。

部活でしか取れない国家資格の「技能検定の広告美術仕上げ」の勉強や練習に励みました。

杉江 サッカー部です。

朝練の走りや筋トレは全て自分に返ってくるので、一生懸命やっています。ボールを使う練習では、意識を高くしてどうすれば成長出来るのかを考えて、プレー出来るように頑張っています。

ー部活動と勉強の両立をどのように頑張っているのですか。

矢島 基本的に気楽な部活なので、勉強の方に集中しています。資格の筆記試験も内容は難しいけれど、過去問を解けば分かるようなものなので、繰り返し過去問を解いていました。

杉江 土日などの部活が終わった後の少しの時間を使って勉強しています。授業中に先生が言ったことをメモし、どこがテストにでやすそうかを考えて、ノートをとるようにしています。

中学生へメッセージ

矢島 自分で描きたいもの、作りたいものを自由にコツコツと取り組むことが出来ます。自分の手で何かを作りたいと思うような人にはオススメの学科です。

杉江 デザイン工学科では、自分の作りたい物や、やりたい事が幅広く学ぶことが出来ます。コンピューター、模型、木工、ポスターなどがあり、自分のやりたいことが見つけられます！

ーインタビューを受けてくださり、ありがとうございました。

矢島・杉江 ありがとうございました。

インタビューを終えて

デザイン工学科はデザインの幅広い分野の事が学べ、自分のやりたいことを自由にやる事が出来る、とても楽しそうな学科だと感じました。興味をもって貰えたら、是非一度、デザイン工学科を見学してみたいかでしょうか。

この記事は令和4年12月時点での情報です。

作成：令和4年度 後期生徒会